

# ひやく しゃく かん どう 百尺竿頭

札幌市青少年山の家便り

第5号

平成22年12月1日 発行

札幌市青少年山の家 野外教育専門員  
増子義仁

## ～ 冬季野外活動プログラム ～

北海道の子どもたちは全国的にみると体力がない、と言われてしている一つの原因に『冬季間外で遊ぶ機会が少ない』ということが挙げられると思います。しかし、雪の深い北海道だからこそ遊べる活動が本当はたくさんあるのです。

札幌市青少年山の家では、子どもたちが冬の楽しさを再認識できるような楽しい冬季の野外活動プログラムを多数ご用意させていただいております。

歩くスキー体験	エゾリスコース（約3km）ノウサギコース（約6km）などの各コースを準備しています。体力増進はもちろんのこと、ゲレンデスキーとは一味違う、冬の山の様子を楽しむこともできます。	スキー板（140cm～195cm）靴（18.5cm～28.5cm）など、無料でお貸しいたします。
スノーシューハイキング	スノーシュー（西洋かんじき）を履いて、夏場は歩くことができない冬山の中を歩きます。様々な冬芽や動物の足跡などを見ることができます。	大人用、子ども用各種無料にてお貸しいたします。
チューブ滑り	当館のすぐそばにある『風のはらっぱ』ダイナミックなチューブ滑り体験ができます。冬の楽しさを存分に味わってください。	専用チューブを38個ご用意しております。
スノークラフト	スノーキャンドルや雪像作り、かまくら作りなどを通して、遊びながら雪の特性を学んだり協力性創造性を身に付けることができます。	スコップ、バケツ、クラフトボックス、スノーソーなど各種ご用意しております。
その他	室内でできるキャンプファイヤー、冬の星空観察、クラフト活動など、様々な活動ができます。	*詳細はお問い合わせ下さい。

札幌市は、『札幌らしい特色ある学校教育』として、北国らしさを学ぶ【雪】、未来の札幌を見つめる【環境】、生涯にわたる学びの基盤【読書】という3つの重点を打ち出しています。中でも世界に類を見ない豪雪地帯にある190万都市として、子どもたちに【雪】を思う存分体験させることの価値はとて大きなものであると言ってよいでしょう。

大人にとって雪は除雪の負担や歩きにくさ、交通の制限など決して楽しくない側面が多いものですが、子どもたちにとっては、雪は最高の友だちであり最高の学習教材であるのです。中学校でのスキー学習も徐々に復活するといわれている今日、是非札幌市青少年山の家で、冬らしさと雪の楽しさを満喫してみませんか？



## 12月の事業予定

### ◆第2回陶芸教室

【気軽に陶芸！

森のランプシェードづくり】

1回目 12月5日(日) 成形

2回目 12月12日(日) 釉薬がけ

対象：個人または親子

料金：大人 1500円

小中学生 1000円

小学生未満 600円

指導：当館陶芸ボランティア

初心者の方も楽しく参加していただけます。

## 第4回全国青少年教育施設 運営研究協議会に参加して

11月25日(木)～26日(金)に国立能登青少年交流の家において、第4回全国青少年教育施設運営研究協議会が開催されました。全国の野外教育施設担当者が一堂に会し、各施設の研究発表を基に今後の施設の在り方や野外教育の価値を高めるための方策について、議論を行いました。

当館は第4分科会にて指定管理者制度についての研究発表を行い、自然体験活動の普及啓発・野外体験活動の価値を高める活動事例と学校への寄与の方法などについて、指定管理者として攻めの姿勢で臨むべきという提案をしてまいりました。

### 【ピンチをチャンスに変える取組】

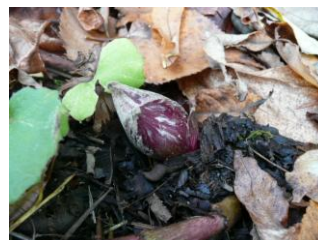
先月の倒木被害のために宿泊学習の延期を余儀なくされた西区の小学校1校が、11月30日に日程変更して来館されました。季節の関係で当初予定したプログラムを大幅に変更しなければならなかったのですが、今回発生した倒木を利用した丸太切り体験や倒木クラフト、単独利用時にのみ提供できる職員直接指導のプロジェクトワイルド体験など、今回でなければ体験できない充実した活動を提供させていただきました。参加した子どもたちは、仲間と協力しながら丸太を切る達成感を味わったり、自然環境に対する意識が深まったりすることができ、『楽しかった。』『勉強になった。』というたくさんの声を聞くことができました。

### 【植物豆知識④】

一般的に植物は花を咲かせ、実がなり、種を落として秋には枯れるというサイクルを行いますが、中にはちょっと変わった状況で冬を越す植物もあることをご存知ですか。

フッキソウ(ツゲ科)という小低木は常緑で、緑色のまま雪の下で冬を越します。

メマツヨイグサ(アカハナ科)はロゼッタという平べったい状態で雪の下を乗り切ります。また、みなさんよくご存じのふきのとう(キク科)は写真のように秋のうちに芽を準備して雪の下で春を待ちます。冬の間雪の下でがんばっている植物を思いながら私たちも冬場を乗り切りましょう。



発行者：札幌市青少年山の家 指定管理者 財)札幌市青少年女性活動協会  
住所 〒005-0862 札幌市南区滝野247番地  
電話 011-591-0303 FAX 011-591-0394  
URL <http://www.sapporo-yamanoie.jp>